



古代出雲文化の郷 散策マップ

太庭
おおば

茶臼山 出雲国府 古社寺
古墳などの遺跡や史跡が
今でも多く存在し
古代出雲の中心地として
繁栄した太庭



飢^う宇^うの海^{うみ}の河原^{かわ}の千鳥^{ちどり} 汝^なが鳴^なげば
我が佐保^{さへ}川^{がわ}のおもほゆるくに
(万葉集・門部王)

神の籠^{かご}れる山 茶臼^{ちうす}山の南麓^{なんろく}に
広がる意宇^{いふ}平野^{へい}は 古代遺跡^{こくたいいせき}の
宝庫^{たから}にして古代出雲^{こくたいいづも}の政治^{せい}の中心地^{しん}
田畑^{でん}を潤^{うる}し中海^{ちゅうかい}へと注^つぐ意宇^{いふ}川^{がわ}を
都^{みやこ}から派遣^{へんぱん}された貴族^{きしゆ}たちは
どんな思いで眺^{なが}めていたのだろう
歴史^{れきし}ロマンあふれる
いにしえの原風景^{げんふう}・大庭^{おほば}を
風^{かぜ}に吹^ふかれて訪^{まじ}ねてみよう

『出雲国風土記』とは?

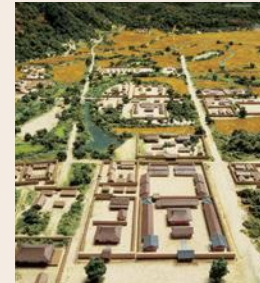


©日御碑本と岸崎氏本

奈良時代の和銅6年(713)、元明天皇の勅命で
全国60余国で編さんされた「風土記」の一つ。
「風土記」は、地名の由来、伝承、産物、土地の状
態などを報告書として記録されたもの。現存す
るのは、出雲、播磨、常陸、豊後、肥前の5か国の
写本のみ。その中でも『出雲国風土記』は、天平
5年(733)に出雲国造の出雲臣広嶋(いずものおみ
ひろしま)が編さんし、唯一の完本として伝わる。
『出雲国風土記』1300年は2033年にあたる

『出雲国府跡』とは?

律令国家の地方行政機関やその関連施設を国衙(こくが)という。国府は、国衙とその周辺
施設やその所在地を示す。8世紀初めの国の数は58国3島、824年以降は66国2島で、そ
れぞれ国衙があった。国衙は中核の政庁(国庁)と実務分掌
官衙(曹司(そうし))群とからなる。出雲国府は『出雲国風土
記』に記載はあるものの、所在地は不明であり様々な説が唱
えられたが、1962年(昭和37)、江戸時代の検地帳から「こ
くてう」の地名が発見され、現在地を国府所在地に推定。
1968年(昭和43)から3年間にかけて六所神社周辺の調査
を行い、政庁とみられる大型建物や整然と並んだ掘立建物、
これらを区画する大溝が検出されたほか、文書作成が行わ
れたことを示す硯、墨書土器、木簡などが出土。1971年(昭
和46)、周辺の条里制遺構を含む約41万㎡におよぶ広い範
囲が「出雲国府跡」として国の史跡に指定された。



出雲国府跡 南側正面 復元模型
(八雲立つ風土記の丘展示)

『意宇六社』とは?



神魂神社
【本殿国造】



六所神社
【古来、出雲国総社】



八重垣神社



眞名井神社



揖夜神社



熊野大社
【高宮第一宮】

かつての意宇郡(おうぐん)にある神社のうち6社は、「意宇六社」(通称「六社さん」)と呼ばれ崇敬
され、「六社参り」が盛んに行われていた。「意宇六社」と呼ばれる神社は、次のとおり。

●熊野大社(八雲町)

『出雲国風土記』に杵築大社(出雲大社)と並んで「大社」と記されており、「日本火出初社(ひのも
とひでぞめのやしろ)」とも称され、他の社とは異なる扱いを受けている。『日本書紀』に、斉明天皇5
年(659)に「出雲国造に命じて厳かな神の宮を建てさせ」と記載され、『出雲国風土記』に登
場する4大神のうちの1柱「熊野大神」を祀る。毎年10月15日には、出雲大社宮司を迎えて、出
雲大社から供えられた神餅に亀太夫がいいがかりをつける「亀太夫神事(かめだうしんじ)」が行
われる。



御田饗祭(勅使代参向図) 県指定

意宇六社の複数社に
まつわる神事
み た げ さい
御田饗祭

六所神社の春の祈年祭、出雲国総社のお祭り。毎年4月15日に行われる。南北朝動乱期の貞和5年
(1349)までは国衙(こくが)が在官人の御参向が
あったと考えられていたが、以降は熊野大社宮司
が代参する。行列を描いた本殿内旧壁画が現存し
ており、県文化財に指定されている。9品の熟饗と
桜の小枝を献ずる古伝祭で、他には類をみない。



見返りの鹿埴輪 国指定



土層見学施設

島根県立八雲立つ風土記の丘展示学習館

全国で6番目の風土記の丘として
1972年(昭和47)に開館し、平
成19年にリニューアルオープン
した。風土記の丘周辺には古墳
時代から奈良時代を中心とした
遺跡が集中し、「古代出雲の文
化の中心地」であった。こうした
地域の歴史を発掘資料と共に
展示・紹介する施設。建物は上
空から見ると前方後方墳の形
をしている。

展示室中央には『出雲国風土
記』に描かれる出雲国庁周辺の
景観をジオラマで再現し、また
「意宇の歴史」についての説明映
像が見られる。敷地内には「額田
部臣(ぬかたべのおみ)」銘文入大刀
が出土した岡田山1号墳があり
石室内を見学できる。その他、古
代から薬として使用されている
風土記記載の様々な植物が見
られる「風土記植物園」がある。

- 開館時間
9:00~17:00(入館は16:30まで)
- 休館日
火曜日(祝日の場合は翌日休館)
年末年始
- 入館料
一般:200円(団体20名以上160円)
大学生:100円(団体20名以上80円)
小・中・高校生:無料
※企画展は別途料金

島根県立八雲立つ風土記の丘展示学習館
島根県松江市大庭町456
TEL.0852-23-2485



公式サイトは
こちら

ガイダンス山代の郷

風土記の丘地内の遺跡のうち、山代・大庭古墳群の管理・
紹介施設として1998年(平成
10)に開設。山代二子塚古墳は、
大正期よりその存在を全
国的に知られる古墳だったが、
その後の周辺の急速な市街地
化により古墳の保全に支障が
できた。
整備事業が始められ、削られ
たままになっていた後方部の
墳丘を復元し、墳丘断面を見
られる「山代二子塚古墳土層
見学施設」をオープン。翌年「山
代二子塚古墳の管理及びガイ
ダンス施設」として開館した。
古墳の土層が広範囲に見学で
きる施設は、全国で山代二子
塚古墳だけ。土層面以外の壁
面には周辺遺跡に関するパネ
ル展示を行っている。

- 開館時間
9:00~16:30
- 休館日
火曜日(祝日の場合は翌日休館)
年末年始
- 入館料
無料

ガイダンス山代の郷
島根県松江市山代町470-1
TEL.0852-25-9490



公式サイトは
こちら

出雲かんべの里



松江藩藤細工

機織り、陶芸、藤細工、木工の4
工房の工芸作家による製作見
学や、作家の指導による「も
のづくり体験」ができる「工芸
館」。出雲地方に伝わる昔話を
中心に、「語り部の部屋」「芳
の部屋」「むかしむかしの部
屋」により様々なスタイルで楽
しめる「民話館」がある。
また、日替わりレストラン「かん
べ茶屋」では、素朴なおふくろ
の味が自慢の田舎定食や出雲
そばなどが味わえ、毎週金曜
日は、麦とろご飯、ビビンバ
などの丼メニューが中心で、毎週
水・木曜日の、動物性食品を使
わない料理を出す「ヴィーガン
レストラン」が好評。さらに、森
を楽しめ様々な植物が観察で
きる「自然の森」がある。

- 開館時間
9:00~17:00(民話館は16:30まで)
- 休館日
火曜日(祝日の場合は翌日休館)
年末年始
- 入館料
工芸館:無料(体験は有料)
民話館:大人(高校生以上)260円
小・中学生130円
(団体:大人200円、小・中学生100円)

出雲かんべの里
島根県松江市大庭町1614
TEL.0852-28-0040



公式サイトは
こちら

レンタサイクル
古代出雲を自転車
で
散策してみよう

出雲かんべの里(民話館)
●営業時間 9:00~16:30
●休 館 日 火曜日・年末年始は休館
●料 金 3時間まで300円、3時間以上500円
※ただし、電動アシストは1日500円になります。

「出雲かんべの里」と「緑
結び八重」は相互乗り
捨てが可能です。



交通アクセス [八雲立つ風土記の丘展示学習館までのアクセス]

バス JR松江駅から→一畑バス4番のりば→
八雲行き→風土記の丘入り口下車(約18分)

タクシー JR松江駅から約15分
(国道432号)

松江観光協会
島根県松江市中原町19
TEL.0852-27-5843
https://www.kankou-matsue.jp/

松江市大庭公民館
松江市大庭町805-3
TEL.0852-24-8733
http://matsue-city-kouminkan.jp/ooba/

発行▶松江市大庭公民館(特別協力:島根県立八雲立つ風土記の丘)
(写真提供:出雲かんべの里・島根県古代文化センター・六所神社)

Aコース

神魂神社・八重垣神社散策コース

所要時間90分



「風土記の丘展示学習館」をスタート・ゴールとするコース。国宝に指定されている「神魂神社」、出雲国造出雲臣の居館跡とされる「出雲国造館跡」、出雲国造家の菩提寺といわれる「正林寺」、神魂神社から八重垣神社までの散策道「はにわロード」、「八重垣神社」を経由して巡るコース。

34

風土記の丘展示学習館

9

神魂神社

11

出雲国造館跡(推定地)

7

正林寺(出雲国造家五輪塔群)

35

はにわロード

2

八重垣神社

34

風土記の丘展示学習館

Bコース

出雲国府跡(国庁跡)周辺散策コース

所要時間90分



「風土記の丘展示学習館」をスタート・ゴールとするコース。6世紀後半築造の「岩屋後古墳」、「六所神社」とその神宮寺といわれる「大日堂」、周辺に条里制が残る「出雲国府跡」、風土記記載の出雲国の幹線道路の十字路といわれる「十字街(ちまた)推定地」、「眞名井神社」。風土記に出雲臣弟山(おとやま)が建立したと記される「山代郷南新造院跡(四王寺(しわじ))跡」を巡るコース。

34

風土記の丘展示学習館

24

岩屋後古墳

26

大日堂

28

六所神社

27

出雲国府跡(国庁跡)

36

十字街推定地

25

眞名井神社

21

山代郷南新造院跡(四王寺)

34

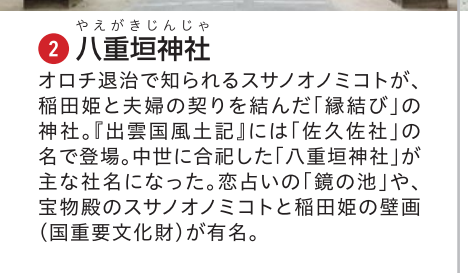
風土記の丘展示学習館



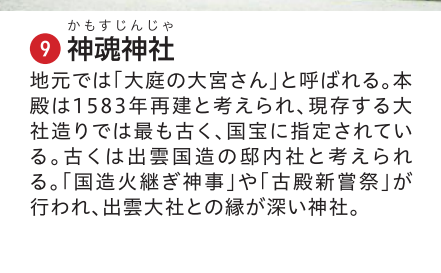
壁面：国重文



本殿：国宝



八重垣神社



神魂神社

散策ポイント

所要時間90分

1

鏡の池

2

八重垣神社(板絵着色神像：国重文)

3

連理の椿

4

荒神谷・後谷古墳群

5

宿禰岩

6

大庭公民館(おしろい地蔵)

7

正林寺(出雲国造家五輪塔群)

8

東淵寺古墳

9

神魂神社(本殿：国宝)

10

大庭鶏塚古墳

11

出雲国造館跡(推定地)

12

山代郷正倉跡

13

山代二子塚古墳

14

山代方墳

15

浄音寺(木造十一面観音立像：国重文)

16

舞雙寺

17

山代郷北新造院跡(来美廃寺跡)

18

岡田山古墳

19

山代郷南新造院瓦窯跡

20

団原古墳

21

山代郷南新造院跡(四王寺跡)

22

茶臼山(神名樋野)

23

御崎山古墳

24

岩屋後古墳

25

眞名井神社本殿

26

大日堂(木造大日如来坐像：市指定)

27

出雲国府跡(国庁跡)

28

六所神社(勅使代参向図：県指定)

29

西百塚山古墳群

30

東百塚山古墳群

31

古天神古墳

32

大草岩船古墳

33

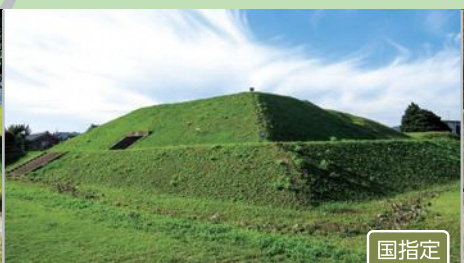
安部谷横穴墓群



大庭鶏塚古墳



山代郷正倉跡



山代二子塚古墳



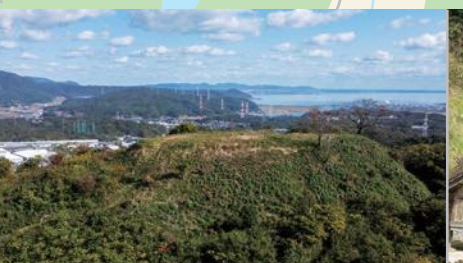
山代郷北新造院跡(来美廃寺跡)



岡田山1号墳



山代郷南新造院跡(四王寺跡)



茶臼山(神名樋野)



眞名井神社



出雲国府跡(国庁跡)



六所神社(勅使代参向図)

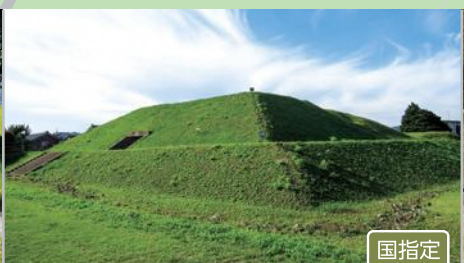
古代出雲文化の郷

大庭散策マップ





大庭鶏塚古墳



山代郷正倉跡



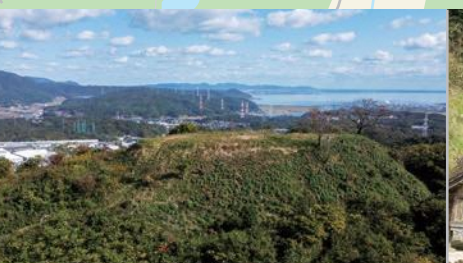
山代二子塚古墳



山代郷北新造院跡(来美廃寺跡)



岡田山1号墳



山代郷南新造院跡(四王寺跡)



茶臼山(神名樋野)



眞名井神社



出雲国府跡(国庁跡)

六所神社(勅使代参向図)

Cコース

茶臼山(神名樋野)登山コース

所要時間70~90分



茶臼山(神名樋野)

「山代二子塚古墳」または「ガイダンス山代の郷」駐車場をスタート・ゴールとするコース。神名樋野は、「神の籠れる山」の意味で『出雲国風土記』にも登場する標高174.1mの山。戦国時代には山城がつくられており、現在も山頂にはその面影が残っている。比較的緩やかな「南口登山道」、一部急な所もあるが、上りやすい「西口登山道」、急勾配ながら枕木階段、ロープが設置され短時間で頂上を目指す「北口登山道」があり、頂上からは360度のパノラマ風景が楽しめるコース。

40

ガイダンス山代の郷

37

登南口

22

茶臼山山頂

40

ガイダンス山代の郷

38

登西口

22

茶臼山山頂

13

山代二子塚

39

登北口

22

茶臼山山頂

Dコース

山代二子塚古墳周辺散策コース

所要時間100分



大庭鶏塚古墳

「山代二子塚古墳」駐車場をスタート・ゴールとするコース。全長94mで島根県最大の規模を持つ前方後方墳の「山代二子塚古墳」から、正月に金の鶏の鳴き声を聞くと長寿になるという伝説がある「大庭鶏塚古墳」、神魂神社の別当寺「浄音寺」、金堂跡や二つの塔が発見された「山代郷北新造院跡(来美廃寺跡(くるみはいじあと))」などを巡るコース。

13

山代二子塚古墳

40

ガイダンス山代の郷

10

大庭鶏塚古墳

15

浄音寺

16

舞雙寺

14

山代方墳

17

山代郷北新造院跡(来美廃寺跡)

13

山代二子塚古墳